

平成 29 年度第 2 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事録

1. 日時：平成 30 年 1 月 29 日(月) 14:00～14:45

2. 場所：日本図書館協会 5 階 会議室 2

3. 出席者：委員

水嶋 英治	国立大学法人筑波大学(SC8 リーダー)
高橋 良平	国立国会図書館
菅野 朋子	国立大学法人東京大学
戸田 あきら	元文教大学学園
鈴木 加奈子	学校法人立教大学
事務局	光富 健一 一般社団法人情報科学技術協会
記録	鈴木 加奈子

欠席者：委員

永田 治樹	筑波大学名所教授
小泉 史子	公益社団法人日本図書館協会
濱田 浄人	国立科学博物館

4. 配布資料：『平成 29 年度第 2 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事次第』

(資料 1-1)(デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化)

ISO22038 進捗状況報告

(資料 1-2)(デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子)

ISO20247 進捗状況報告

(資料 2) 平成 29 年度 ISO/TC46/SC8 投票報告

(平成 29 年 7 月 13 日～平成 30 年 1 月 29 日)

(資料 3) 平成 28 年度成果報告書目次

(資料 4) TC46 リスポン総会案内

5. 議事：

水嶋リーダーにより議事を進行し、各資料に基づき説明があった。

5-1)「平成 29 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事録」を承認した。

5-2)議題 1「平成 29 年度実施計画進捗報告」(資料 1-1、1-2)

資料に基づき、以下のとおり事務局からの説明があった。

TC46 では平成 29 年度の経済産業省委託事業として、以下の 2 つの新規案件を提案している。それぞれの活動について進捗を報告する。

・「デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化」(資料 1-1)については、2017年3月13日に NP 承認となり、5月に開催された TC46/SC9 の総会において、宮澤先生を委員長として新たに WG14 を作成することが承認された。

・「デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子」(資料 1-2)については、2017年7月、DIS 投票承認、12月に FDIS 投票承認となり、2018年1月17日に正式な ISO として出版された。

今後、国会図書館のご協力のもと、広報活動を行い国内にも普及していく方向である。

この報告に対し、以下の質疑応答が行われた。

< ISO20247 の広報及び JIS 化について >

委員) 承認された ISO について、国会図書館を通じ広報するということであるが、具体的な計画はあるか

事務局) 現在のところ、Current Awareness に記事を掲載する方向である

委員) 今回の ISO を JIS にする計画はあるか

事務局) 今のところ、その計画はない

委員) 具体的に使用するのはシステム関係者であろうが、他に想定が浮かばない

リーダー) いずれにしても広報は必要であろう

リーダー) JIS 化したほうがよい、という判断はどこで行うのか

委員) SC9 から提案があるのであろうか

事務局) 今のところ具体的なことは、特に持ち上がっていない

リーダー) JIS 化については、後ほど、担当者に確認しておく

< ISO20247 の対象となる機関について >

リーダー) 先ほどの報告では博物館についても言及があったが、対象に博物館は入らないのではないか

事務局) 「Scope」には、「Library and related organization” here refers to an organization within the scope of ISO 15511 とある

リーダー) ISO15511 の記載内容を確認する必要があるが、博物館の方では別途計画があるようであり、ISO20247 の対象となるかは不明である

5-3)議題 2「平成 29 年度 ISO/TC46/SC8 投票報告」(資料 2)

平成 29 年度の投票案件は、2 件であった。そのうち「ISO/CD 21248」については担当委員より以下の補足説明があった

8 月 26 日の CD 投票では、事務局を通じてコメント付きで賛成を投じた。コメントの内容は、収集に関わること、及び、国会図書館を事例としている箇所に誤りがあったため、その修正である。各国から出されたコメントについては 10 月 25～26 日に WG のミーティング(ケルン)において協議予定であったが参加できなかったため、別途文書にて対応案を提示した。その後の連絡はまだきていない。

5-4)議案 3「平成 29 年度成果報告について」(資料 3)

経産省への締切りは 2 月 3 日であり、各 SC リーダーと事務局の間で作成中である。SC8 の報告内容については、水嶋リーダーが下案を策定中であり、後日にリーダーより各委員へメール配信予定である。

5-5)議題 4「TC46 リスボン総会」(資料 4)

2019 年 5 月 14～18 日に開催される総会の案内が届いている。予算が 4 月以降にならないと決まらないため参加者は未定であるが、3 人程度参加していただきたい。

5-6)議題 5 その他

水嶋リーダーより、次年度の計画について質問があり、メタデータに使われる言葉の問題について、SC4 より提案される予定である旨、事務局より回答があった。水嶋リーダーより、この件で SC8 として何かやることがあれば、連携して行いたいとの発言があった。

以上